

街を上げてパソコン・インターネット利用に取り組む

## 赤 穂 商 工 会 議 所

機関名	赤穂商工会議所		
所在地	兵庫県赤穂市加里屋68-9		
電話番号	0791-43-2727		
地域概要	(1)管内人口 5万2千人	(2)管内商店街数 7	商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 7	(2)会員数 228	商店
	(3)空店舗率 10.9%	(4)大型空き店舗 1	店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成13年度 活性化対策事業 総事業費 5,428千円  
バーチャルモール、情報館

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

忠臣蔵で知られる兵庫県赤穂市は、県の最南西端、瀬戸内海に面した千種川の河口にある風光明媚な小都市。「塩」で知られたイメージがあるが、塩田は過去のもので、その跡地はほとんどが工業地帯へと変わっている。

人口5万人ほどの赤穂市にある7つの商店街は、いずれも地域住民を対象とした「近隣型商店街」として発展してきた。しかし、他の町同様、この赤穂市においても郊外への大型店の進出・増床及び中規模専門店の出店により小売店や商店街の衰退・空洞化という問題が深刻化してきている。



赤穂市の位置

特に中心商店街では空き店舗が急速に増加し、町に元気がなく個店の体力も衰退しているのが現状である。一方、インターネットを中心としたITは、本格的なブロードバンド時代を迎え、常時接続サービス・低廉化が急速に普及してきている。こうした中、ITを駆使して本事業をローカルなコミュニティツールとして効果的に活用し、中小小売業及びサービス業の活性化を図るために事業を行った。

#### 2. 事業内容

##### <情報ほっとステーション>

赤穂商工会館に情報ほっとステーションを設置し、地域商業者及び地域住民の拠点として、両者の情報化の推進に関わる支援事業を行った。

##### (1) WEBサーバとメールサーバを設置

取得ドメイン名 <http://www.ako-wai2.com> (あこうワイワイどっと混む)

1) HP開設：平成13年10月20日

2) アクセス件数：11,640件（平成14年2月28日現在）

(2) パソコン・インターネットサロンを運営

赤穂商工会館3階研修室、インストラクター1名を配置

1) 開設期間：平成13年7月2日～平成14年3月31日

2) 受講者数：述べ1,259名（平成14年3月20日現在）

(3) 地域住民及び小売業者等の情報化を支援するため、事務局スタッフを派遣

事務局体制：兼任職員2名（赤穂商工会議所より派遣）



「情報ほっとステーション」風景

<インターネットご用聞き>

市内小売業及びサービス業を対象にE-mailを利用して加盟店のお買い得情報や商品情報、TOWN情報を中心に地域インターネットユーザーに対して定期的に情報を配信した。

(1) 加盟店情報の配信（加盟店30店）

(2) 商店街情報の配信

1) イベント情報の配信

2) 商店街活動の配信

3) 募集案内

(3) TOWN情報の配信

1) 各種講演会情報の配信

2) スポーツ・イベント等の情報配信

(4) 配信情報の収集

1) 加盟店や商店街巡回による情報収集



メールによる情報発信

2) 個店に対しての経営(マーケティング)支援(配信情報の企画提案)

(5) バーチャルモール(ホームページ)の開設

加盟店・商店街ページ作成

(6) 商店街等消費者意識調査の実施

調査を通じて消費者のニーズを把握(WEB上で対応)

<バーチャルコミュニティ広場>

あこうワイワイどっと混むホームページ上にイベントコーナーやフォーカスコーナーを設置し、コミュニティづくりの推進を図った。また個人向けにE-mailアドレスを発行した。

(1) イベントコーナーのページの開設

(市内で開催される各種イベント情報を掲載)

(2) フォーカスのページの開設

(町の話題や人物、作品などにスポットを当てたページを掲載)

(3) E-mailアドレスの発行

(希望者に無料でE-mailアドレスを発行)



バーチャルコミュニティ広場

## 【 効 果 】

### ( 1 ) 小規模小売業者等の情報技術の向上

パソコン・インターネットサロンを開設し、地域住民及び商業者に対して情報化に対する指導・支援を行ったことにより、個人のレベルアップが図れた。

### ( 2 ) 事業の認知度

新聞折り込みチラシ及び自治会回覧版、地方紙の記事の掲載などにより市民へのアピールが図れた。

### ( 3 ) 商業者及び地域の活性化

ホームページ開設による知名度の向上と電子メールを活用した低コストな販促活動が可能となり商業者の事業意欲の向上につながった。また、本事業を通して開設したホームページは小売店と、一般消費者を結び付ける場としてイベント情報や地域の様々な話題や人物にスポットを当てたコーナーを掲載することにより地域を代表するコミュニティサイトとなった。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

( 1 ) ホームページのアクセス数を上げるためのコンテンツの追加、新鮮な情報の提供、掲示板等による双方向のコミュニケーションツール設置により、さらに充実したホームページづくりが必要。また広く普及した携帯電話向けのホームページの開設及び情報配信も今後検討していく必要がある。

( 2 ) 加盟店においては、ITに関する認識がまだまだ薄いことから、パソコン研修会等による技術支援及び販促企画を中心としたマーケティング支援が必要である。

( 3 ) 加盟店、一般会員（メール配信先）の加入促進活動

( 4 ) 事務局の専属スタッフの配置および情報技術のレベルアップ

## 【 教 訓 】

インターネットの普及によりユーザーは身近で新鮮な情報を求めているので、いかにユーザーの期待に沿える情報や常に最新の情報を提供し続けるということが大切。

## 【 関 連 U R L 】

あこうワイワイどっと混む <http://www.ako-wai2.com>

赤穂商工会議所 <http://www2.memenet.or.jp/ako-cci>